

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	特別支援教育課長 三島賢隆	電話番号	0852-22-5420
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	小中学校特別支援教育体制整備推進事業		
目的	(1) 対象	各市町村教育委員会が指定した実施校の小・中学校の特別支援教育コーディネーター（以下「Co」）	
	(2) 意図	特別支援教育コーディネーター業務についての専門性の向上を図るとともに校内の教育支援体制整備を推進していく。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校に、Coへの相談・助言を行うスーパーコーディネーター（以下「S-Co」）を配置する。 S-Co配置校に代替講師を配置し、S-Coの活動を支援する。 S-Coは実施校を訪問し、Coに対してコーディネーター業務の相談や助言を行う。 各市町村教育委員会は、Coに対して特別支援教育やコーディネーター業務に関する研修体制を構築する。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 ・各市町村教育委員会の特別支援教育コーディネーター研修実施率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義 研修を実施した市町村数 ÷ 19市町村数	実績値	73.6					
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						%
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	2,667	2,431
うち一般財源 (千円)	2,667	2,431

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> Coがコーディネーター業務について研修を受けたり、身近な相手に相談する機会がなく、専門性の向上に繋がらない。 各市町村教育委員会において取り組まれている特別支援教育の研修体制に地域差がある。
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 事業をとおし、校内支援体制整備に繋がった。 S-Coの相談、助言により、Coとしての専門性の向上に繋がった。 地域の保幼小や小中の連携及び支援の引継ぎの改善につながった。 市町村教育委員会が取り組んでいる特別支援教育に関する研修に改善、工夫が見られるようになった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施校に対しては、校内支援体制整備の推進において成果があったが、実施校の成果を各市町村全体に広がっていかない状況がある。 特別支援教育コーディネーターの人材育成に繋がっていかない状況がある。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 各市町村教育委員会において、特別支援教育に関する体制整備に地域差がある。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理職の特別支援教育に関する理解・啓発の推進。 地域の特別支援教育推進のための人材育成。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業終了。 小中学校における特別支援教育体制整備の推進のためには、県教育委員会と市町村教育委員会との連携が不可欠であり、連携のあり方について検討していく必要がある。 特別支援教育体制整備推進のためには、更なる管理職の理解・啓発の推進、特別支援教育を推進していく人材育成システムの構築を進めていく必要がある。 特別支援学校におけるセンター的機能のさらなる充実を図る。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--